

【星と稲の訓】 朝に星を戴きて出で 努め励みて 我が伊米ヶ崎校及び伊米ヶ崎村の発展を期さん

## 当たり前前の幸せ

中学生の時、国語のテストで「平和」の対義語が出題され、答えられなかった思い出があります。答えは「戦争」でした。（反対語辞典で調べると、他にも騒乱や戦乱等も対義語だそうです。）中学生の私にとって、戦争はあまりにも日常とかけ離れているため、実感としてとらえることができなかつたのです。同じように平和についても、何が平和なのか分からない、日々の生活に追われた平々凡々な子どもでした。今、ウクライナは戦争の最中にいます。数か月前までは、我々と変わらない、穏やかに生活をしていた人口約4千万人のヨーロッパの国が2月24日を境に、砲撃が市中に響く死と隣り合わせの生活になったのです。テレビの向こう側の悲劇を見ながら、平和のありがたみを感じます。伊米ヶ崎小の子どもたちは昔の私のように、とりたてて平和を意識することのない、当たり前前の日常の中にいます。ウクライナの子どもたちは、砲弾に逃げまどい、家族と引き離され、ふるさとを追われています。卒業する6年生の子どもたちを目の前にし、ウクライナに早く平和が訪れることを祈るとともに、子どもたちが将来、戦争に巻き込まれるような世の中にならないことを切に願います。



さて、令和3年度も残りわずかになってきました。新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度も学校の教育活動に多くの制限がありましたが、子どもたちは明るく、元気に過ごすことができました。『星と稲の訓』のとおり一人一人が努め、励んでたくましく成長しました。こうして1年間の教育活動を無事に終えることができるのも、保護者、地域の皆様のご理解と温かなサポートがあったからこそと感謝しております。

### 保護者、地域の皆様

1年間のご協力、ご支援ありがとうございました

### 各種コンクール 入選者紹介

#### 【新潟県児童生徒絵画・版画コンクール】

特選 3年 高橋 心陽  
5年 五十嵐大樹



## 爽快！スキー授業 ～2/16.18 アルペンスキー教室～

3～6年生がスキー授業で小出スキー場に行ってきました。今年から3年生もアルペンスキー授業に参加しました。残念ながら新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた3回ではなく、各学年1回のみでした。伊米ヶ崎小は1年生からクロカンスキーを行っていますので、斜面への恐怖心は少なく、ほとんどの子どもたちが、すぐにアルペンスキーに慣れ、気持ちよさそうにスロープを描いていました。



## 伊米ヶ崎の歴史を学ぶ ～2/17 6学年総合的な学習～

以前、学校だより『星と稲No.6』に、第2次世界大戦末期、軍用飛行場として八色原飛行場が造られたことをまとめた冊子『八色原飛行場建設の記憶』が作成されていることを載せました。その『八色原飛行場建設の記憶』が完成しましたので、執筆者の梅田様、八海様から、6年生に向けて授業していただきました。当時小学生だった梅田様からは、飛行場造りの手伝いの様子や兵隊さんとのふれあいエピソード等、教えていただきました。子どもたちは、伊米ヶ崎は戦地にならなかったものの、人々の生活は戦争に翻弄されていたことを学ぶことができました。



## 中学校でもがんばれ！ ～3/3 6年生を送る会～

1年間、学校のリーダーとしてがんばってきた6年生に感謝&卒業のお祝いを伝える6年生を送る会が行われました。1・2年生は元気なダンス「ギラギラ」、3年生は6年生へのエール、4年生はくす玉わり、5年生は全校ゲームや運営全般を担当しました。どれも6年生への感謝の気持ちに溢れていました。



### ・・・ お知らせ ・・・・・・・・・・・・・・・・

春休み中に伊米ヶ崎小に閉庁日はありません。事故や病気等、何かございましたら伊米ヶ崎小学校 Tel 792-0089までご連絡ください。夜間、休日であっても、急用の際は、学校までご連絡ください。教頭の携帯に転送されます。なお、6年生は、4月1日以降、新型コロナウイルス罹患や事故等があった場合は、小出中学校 Tel 792-0074にご連絡ください。よろしくお祈りします。

